

公益社団法人アルコール健康医学協会

令和4年度 事業報告書

自：令和4年 4月 1日

至：令和5年 3月31日

事業概要

令和4年度の事業活動は、基本的にこれまでと同様、事業計画を基に、国民の健康の保持及びアルコール飲料に起因する疾病の予防並びにこれらと調和のとれた酒類産業の健全な発展に寄与するため、酒類業界等からの賛助会費・委託金・助成金、基本財産の運用益、出版物等の頒布収入等を活動資金として、また関係各機関と連絡、協議を行いながら、普及・啓発事業、助成金交付事業、調査研究委託事業及び酒類の広告審査事業等の各事業を実施した。

2 総務関係事業報告

1. 会員概況（令和5年3月31日現在）

| | |
|---------|--------------------------|
| (1) 正会員 | 26名 |
| 浅見 敏彦 | 公益社団法人アルコール健康医学協会副理事長 |
| 新井 智男 | 日本洋酒酒造組合専務理事 |
| 市田 浩恩 | 公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事 |
| 伊東 貞 | 税理士法人さくらホールディングス代表社員・税理士 |
| 伊藤 廣幸 | 一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会顧問 |
| 上田 茂 | 公益財団法人日本医療機能評価機構専務理事 |
| 梅田 勝 | 東京工科大学副学長 |
| 江國 清志 | 全国卸売酒販組合中央会専務理事 |
| 岡南 啓司 | 日本蒸留酒酒造組合専務理事 |
| 岡本 佳郎 | 日本酒造組合中央会副会長 |
| 鹿島 晴雄 | 慶應義塾大学医学部客員教授 |
| 岸 英彦 | 日本洋酒輸入協会専務理事 |
| 岸野 博行 | ビール酒造組合専務理事 |
| 行天 良雄 | 医事評論家 |
| 黄金井陽介 | 全国地ビール醸造者協議会副会長 |
| 雑喉 良祐 | 一般社団法人チェリー・ブロッサム代表理事 |
| 田中 慶司 | 公益社団法人アルコール健康医学協会理事長 |
| 田中 政信 | 公益社団法人日本産婦人科医会名誉会員 |
| 野崎 貞彦 | 日本大学医学部名誉教授 |
| 福井 次矢 | 東京医科大学茨城医療センター病院長 |
| 堀井 茂男 | 公益社団法人日本精神科病院協会常務理事 |
| 三木 和平 | 公益社団法人日本精神神経科診療所協会会長 |
| 南 砂 | 読売新聞東京本社 常務取締役調査研究担当 |
| 森 幹雄 | 公益社団法人アルコール健康医学協会前常務理事 |
| 吉田 精孝 | 全国小売酒販組合中央会会長 |
| 渡辺 哲 | 東海大学医学部客員教授 |

(2) 賛助会員 団体会員 15者

(酒類業界等11者、製薬業界1者、病院2者、その他1者)

ビール酒造組合
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合
日本蒸留酒酒造組合
全国卸売酒販組合中央会
全国小売酒販組合中央会
日本洋酒輸入協会
日本ワイナリー協会
全国地ビール醸造者協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
医療法人(社団)新淡路病院
医療法人せのがわ 瀬野川病院
(一社)チェリーブロッサム

2. 理事会の開催について

(第1回通常理事会) 令和4年5月17日(火) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 令和3年度事業報告書(案)及び同収支決算(案)について

(第2回通常理事会) 令和4年6月22日(水) 於：日比谷松本楼

ア. 出席理事 16名

イ. 議題 (1) 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

(第1回臨時理事会) 令和4年6月22日(水) 於：日比谷松本楼

ア. 出席理事 16名

イ. 議題 (1) 理事長・副理事長・常務理事の選任について

(第2回臨時理事会) 令和4年10月31日(月) (定款第35条書面決議の特例)

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 企画委員会 企画委員の選任について

(第3回通常理事会) 令和5年3月23日(木) 於：日比谷松本楼

ア. 出席理事 16名

イ. 議題 (1) 令和5年度事業計画書(案)及び同収支予算(案)について

(2) 賛助会員の入会について

(3) 令和5年度定時社員総会の開催・招集について

ウ. 報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

3. 社員総会の開催について

(定時社員総会) 令和4年6月22日(水) 於: 日比谷松本楼

ア. 出席社員 26名(委任状提出者を含む)

- イ. 議題 (1) 令和3年度事業報告書(案)及び令和3年度財務諸表(案)について
(2) 任期満了に伴う役員の選任について

4. 企画委員会の開催状況について

(1) 構成員 企画委員11名(令和5年3月31日現在)

(任期: 令和4年11月8日~令和6年11月7日)

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 伊藤 廣幸 | 一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 顧問 |
| 衛藤 隆 | 東京大学名誉教授 |
| 亀井 慶承 | 日本酒造組合中央会 理事 |
| 酒井 洋 | サッポロビール株式会社 総務部マネージャー |
| 佐藤 睦子 | 淑徳大学看護栄養学部看護学科 准教授 |
| 重盛 憲司 | 洗足メンタルクリニック 院長 |
| 田中 潤 | サントリー株式会社 事業企画部 グローバルARS 担当部長 |
| 並木 茂夫 | NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン 副理事長 |
| 堀田美枝子 | 全国養護教諭連絡協議会 顧問 |
| 松本 浩明 | 宝酒造株式会社 常務執行役員東京事務所長 |
| 水口 尚人 | 全国小売酒販組合中央会 事務局長 |
| 他に、専門委員2名 | |

(2) 開催日時及び議題

令和4年度の企画委員会は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染状況を鑑み、電子メールにて意見集約を行う形式と参集しての通常会議で決定した。

《令和4年》

4月22日(木)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.28 No.1」企画案の検討

6月15日(水)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.28 No.1」原稿確認
2. 機関誌「お酒と健康」表紙デザイン決定と内容確認
3. 令和3年度事業報告書(案)・同財務諸表(案)の報告

8月9日(火)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.28 No.2」企画案の検討
2. 令和4年度助成金申請受付状況の報告

10月3日(月)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.28 No.2」原稿確認
2. その他

12月16日(金)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.28 No.3」企画案の検討

《令和5年》

2月15日(水)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.28 No.3」原稿確認
2. 令和5年度事業計画書(案)並びに同収支予算書(案)について
3. その他

3 業務関係事業報告

令和4年度においては、賛助会費等 38,140 千円、出版物等頒布収入 387 千円、基本財産運用益 1,216 千円、助成金 1,050 千円、委託金 6,439 千円等、計 47,232 千円をもって、次の事業を実施した。

【公1 普及・啓発事業】

1. 普及・啓発資料の作成・発行事業

アルコール飲料に関する知識及び適正な飲酒習慣に関する思想の普及並びに 20 歳未満飲酒防止に関する啓発を内容とする機関誌、情報誌やリーフレット等を編集・作成した。

- ・ 機関誌「お酒と健康」第 42 号を 7 千 5 百部発行 (6 月)
- ・ 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol.28 No.1~No.3 を計 2 万 1 千 9 百部発行 (7 月、11 月、3 月)
- ・ 中学生向け飲酒防止啓発資料「知っていますか？お酒のこと」を新規に 1 万部作成 (7 月)

2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業

- ① 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター、国税局、税務署、酒類業界及び関係団体等へ機関誌、情報誌、講演会記録集等配付・頒布した。
- ② 当協会の活動方針と方向性を一にする内容をもつ学会・大会及び学校におけるアルコール健康教育に対し、先方からの求めに応じて、情報誌、小冊子、リーフレット等を提供した。
- ③ 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター等に対し出版物の値引き頒布及び送料無料キャンペーンを行ったところ 18 件 (計 2,736 部) の申込みがあった。

各種大会等に対する資料提供（主なもの）

| 開催年月日 | 提供先 | 部数 |
|--------|------------------|------|
| 【令和4年】 | | |
| 8月19日 | 第31回アルコール健康教育研修会 | 240部 |
| 10月3日 | 道民健康づくり日（北海道） | 360部 |
| 11月15日 | 第12回飲酒と健康に関する講演会 | 540部 |

20歳未満飲酒防止向け資料提供（主なもの）

| 開催年月日 | 提供先 | 部数 |
|--------|-----------------------|--------|
| ≪令和4年≫ | | |
| 【通年】 | 酒類業中央団体連絡協議会9団体他 | 800部 |
| | NPO法人青少年健康カサポトラボ・ジャパン | 2,500部 |
| | 浦安市薬剤師会 | 650部 |
| | 神奈川県麻薬等薬物相談委員会 | 450部 |

3. インターネットによる情報提供

お酒と健康（飲酒の基礎知識、適正飲酒の10か条、飲酒運転防止、20歳未満飲酒防止等）、アルコールと健康に関する最新の医学情報、お酒と文化等の情報をホームページで広く公開した。なお、令和4年度中のアクセス件数は、28,784件であった。

4. 書籍の頒布事業

当協会作成・発行の情報誌「NEWS&REPORTS」、書籍やリーフレット等（シリーズ「酒の文化」、ハンドブック「アルコールと健康」、リーフレット「女性と飲酒」、20歳未満飲酒防止小冊子（小学生版・中学生版）等を低廉な価格で、一般消費者、地方公共団体等に販売した。

5. 後援事業

当協会の活動方針・目的に合致している内容をもつ学会・大会等のイベントに対して、先方からの要請に応じ、後援団体としての当協会の名義使用を認め、当該イベントを側面からバックアップした。

令和4年度は次の6件の後援等依頼があった。

- ・20歳未満飲酒防止・飲酒運転撲滅全国統一キャンペーン（全国小売酒販組合中央会）
- ・第31回アルコール健康教育研修会（健康行動教育科学研究会）
- ・令和4年度「青少年の非行・被害防止全国協調月間」（内閣府）
- ・第32回「肝臓週間」（（公財）ウイルス肝炎研究財団）
- ・第69回精神保健福祉普及運動及び第69回全国精神保健福祉全国大会（厚生労働省）
- ・全国生活習慣病予防月間2023（（一社）日本生活習慣病予防協会）

6. 取材・問合せ等への対応事業

新聞・雑誌・TV等のメディア関係者や公共団体、企業等から当協会ホームページに掲載している適正飲酒、飲酒運転、20歳未満飲酒防止等に関する問合せや講師依頼など数十件あった。また、当協会ホームページのリンク依頼やホームページに掲載している適正飲酒の10か条、血中濃度と酔いの状態などの図表等について、新聞・雑誌・TV等のメディア関係者や公共団体、企業等が発信している媒体、広報誌、職員研修用資料などに使用掲載することについての許可依頼が10件程度あった。

7. 講演会・セミナー等事業

講演会の開催

第12回 飲酒と健康に関する講演会を令和4年11月15日（火）星陵会館で開催した。

また、令和5年3月に講演会の内容を取りまとめた記録集を2,500部作成し、関係者に配付した。記録集については、当協会のホームページにも掲載。

第12回 飲酒と健康に関する講演会

| | |
|------------|--|
| 主催者 | 公益社団法人アルコール健康医学協会 |
| 日時 開催場所 | 令和4年11月15日（火） 13:50~16:40 星陵会館ホール（東京都千代田区） |
| 参加者 | 来場者107名 |
| 後援 | 厚生労働省、国税庁、公益財団法人日本学校保健会 健康日本21推進全国連絡協議会 |
| 講演内容 | 1. 次期国民健康づくり運動プランとアルコール健康障害対策の推進について 厚生労働省 健康局健康課 女性の健康推進室長 田邊和孝 2. 私もあなたも知っておきたい！女性の健康と飲酒の関係 白峰クリニック 精神科医師 岩原千絵 3. アルコールと臓器の病気 東北大学大学院 医学系研究科 消化器病態学分野 教授 正宗 淳 |

8. 助成事業

当協会の活動方針とその方向性を一にする団体やその団体の実施するイベント等に対して酒類業中央団体連絡協議会の協力を得て、助成金の交付を行うことにより当協会のPR・活動の充実を図った。

令和4年度は助成金を以下の(1)から(6)の6件について助成金を交付することを決定し、5件について助成をした。なお、助成をしなかった1件、(4) 第6回関東甲信越アルコール関連問題学会茨城大会については、収支決算で当方からの助成金がなくても運営が可能との報告があったため助成は実施していない。

(1) 第31回アルコール健康教育研修会への助成

| | |
|-------|---|
| 主 催 者 | 第31回アルコール健康教育研修会 健康行動教育科学研究会 |
| 開催日時 | 令和4年8月19日(木) 13:00~16:30 |
| 会 場 | 全水道会館 5階 中会議室 |
| 参加者 | 58名 |
| 講演等 | 講演Ⅰ アルコール健康教育の進め方(栄養指導や治療食の観点から) 古田 雅(東邦大学医療センター大森病院 栄養部臨床栄養管理室上席室長) 講演Ⅱ アルコール問題の現状と課題 松本俊彦(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長) 講演Ⅲ アルコール健康教育の進め方(学校における実践から) 小林賢二(青少年喫煙等健康問題研究会代表) |

(2) 第57回日本アルコール・アディクション医学会学術総会への助成

| | |
|-------|---|
| 主 催 者 | 第57回日本アルコール・アディクション医学会学術総会 会長 白石光一(東海大学医学部附属東京病院消化器内科 教授) |
| 開催日時 | 令和4年9月8日(金)~10日(日) |
| 会 場 | 仙台国際センター(ハイブリット開催) |
| 参加者 | 1,150名(ウェブ配信も含む) |
| 講演等 | 大会長講演 消化器内科医としてのアルコール症診療のReal world 白石光一(第57回日本アルコール・アディクション医学会 大会長) アルコール医療が精神医療を変える 石川 達(第44回日本アルコール関連問題学会 大会長) シンポジウム テーマ:アルコール診療を再考する~内科・精神科連携の重要性、チーム医療、そして地域医療の確立をめざして 座 長:菊池真大、杉原正子 シンポジスト:菊池真大、佐藤寧子、杉原正子、水野有紀、白石光一 シンポジウム テーマ:アルコール関連肝疾患の最前線:診断と治療Up to Date 座 長:池嶋健一、谷合麻紀子 シンポジスト:森永真紀、今城健人、魚嶋晴紀、小木曾智美 教育講演 アルコール関連管疾患:概念の変遷と病態解析・治療へのアプローチ 座長:竹井謙之 演者:池嶋健一 アルコールと膵炎・膵癌 座長:土島 睦 演者:正宗 淳 |

(3) 第44回日本アルコール関連問題学会への助成

| | |
|------|--|
| 主催者 | 第44回日本アルコール関連問題学会 会長 石川 達 (医療法人東北会 東北会病院 理事長) |
| 開催日時 | 令和4年9月8日(金)～10日(日) |
| 会場 | 仙台国際センター (ハイブリット開催) |
| 参加者 | 1,150名 (ウェブ配信も含む) |
| 講演等 | <p>テーマ 今、求められるアルコール・アディクション医療と科学</p> <p>シンポジウム テーマ：最近のアルコールマーケティング事情と予防教育 座長：米山奈奈子、熊澤由美子 シンポジスト：天野恵美子、今成知美、熊澤由美子 指定発言：田中紀子</p> <p>シンポジウム テーマ：一般集団における適切な飲酒目標 座長：真栄里 仁 シンポジスト：金城 文、真栄里 仁、中村正和、羽鳥 裕</p> |

(4) 第6回関東甲信越アルコール関連問題学会茨城大会

| | |
|------|--|
| 主催者 | 第6回関東甲信越アルコール関連問題学会茨城大会 大会長 吉本 尚 (筑波大学医学医療系准教授/健幸ライフスタイル開発研究センター長) |
| 開催日時 | 令和4年12月4日(日) |
| 会場 | (オンライン配信) |
| 参加者 | 153名 |
| 講演等 | <p>大会長講演 吉本 尚 (筑波大学) 「将来への新しい挑戦～常識にとらわれない試行錯誤から生まれるもの」</p> <p>教育講演 「明日から使えるアルコールの基本知識」 座長：斉藤 剛 (筑波大学) 講師：垣渕洋一 (成増厚生病院) 2014年にアルコール健康障害対策基本法が施行された。同法による施策を行う上で人材育成が必須であるが、現状、保健・医療・福祉専門職のアルコール関連問題およびその連携に関する卒前/卒後研修の不足が指摘されている。本講演は人材育成に資するため、アルコール関連問題の基本的かつ明日からでも活用できる実践的知識の提供</p> <p>ワークショップ 「アルコール依存を抱えるお母さん、お父さんとその子どもの支援」 座長：新田千枝 (久里浜医療センター) 演者：チャコさん、メグさん (女性アルコール依存症当事者) 森田展彰 (筑波大学)、田渕賀裕 (成増厚生病院)、村瀬華子 (北里大学)</p> |

- (5) 学校等におけるアルコール健康教育教材作成事業への助成
 一般社団法人東京都学校薬剤師会が小学校におけるアルコール健康教育の際に使用するパワーポイントCDを880枚作成し、会員を対象に配布した。
 学校薬剤師に対し、配布したパワーポイントCDを用いた研修会も継続しアルコール健康教育の充実を図った。
- (6) 知識と体験から学ぶ20歳未満飲酒防止教育への助成
 NP0 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパンから講師を派遣し、小・中学校の学生、教員や保護者を対象とした「知識と体験から学ぶ20歳未満飲酒防止教育」の講演を行った。
 本年度は計8か所で講演し、受講者は計1,706名。

【公2 学術事業】

アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集

平成17年度より、疫学・予防、基礎研究（病理・生理・薬理）、臨床・治療（内科系）についてビール酒造組合から委託を受け実施している事業であり、令和元年度からは臨床・治療（精神科系）も収集している。

令和4年度においては、世界中の主要な医学雑誌や文献等からアルコールと健康に関する最新の医学情報を235件収集した。

また、令和3年度上半期の論文要旨94件、令和3年度下半期の論文要旨140件については令和5年1月に当協会ホームページに公開した。

医学情報収集に関する委託事業

| 区分 | |
|-----------------|----------|
| 契約日 | 令和4年4月1日 |
| 契約期間 | 1年毎 |
| 学術情報収集のための学術調査先 | 下記参照 |

アルコールと健康に関する最新の医学情報収集のための調査及びその整理

| 区分 | 担当者 |
|----------------------|--------------------------------------|
| 疫学・予防に関する調査 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之 先生 |
| 基礎研究（病理・生理・薬理）に関する調査 | 元高崎健康福祉大学薬学部薬学科 教授 八田 慎一 先生 |
| 臨床・治療（内科系）に関する調査 | 慶應義塾大学 名誉教授 加藤 眞三 先生 |
| 臨床・治療（精神科系）に関する調査 | 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 院長 松下 幸生 先生 |

【公3 広告審査事業】

1. 令和4年度における酒類の広告・宣伝に関する消費者等からの苦情は0件、相談は85件（ノンアルコール飲料に関するものを含む）であった。
2. 令和4年度の酒類の広告・宣伝に関するテレビ・新聞・雑誌等の業界策定自主基準の遵守状況等について審査委員会及び同実務者委員会をそれぞれ2回開催するとともにその結果を関係者に報告した。また、ノンアルコール飲料についても審査した。

(1)審査委員会及び同実務者委員会の委員（令和5年3月31日現在）

・審査委員会（委員長は勝丸充啓氏）

| | |
|--------|-----------------------|
| 勝丸 充啓 | 弁護士（元広島高等検察庁検事長） |
| 衛藤 隆 | 東京大学名誉教授 |
| 大木 美智子 | 一般財団法人消費科学センター代表理事 |
| 田中 慶司 | 公益社団法人アルコール健康医学協会理事長 |
| 田中 秀一 | 国際医療福祉大学医療マネジメント学科学科長 |

・実務者委員会（委員長は宍戸 旦氏）

| | |
|-------|---------------------------------|
| 宍戸 旦 | マーケティングコンサルタント（元(公社)日本広告審査機構参与） |
| 亀井 慶承 | 日本酒造組合中央会理事 |
| 佐野川 剛 | ビール酒造組合審議役 |
| 田中 潤 | 日本洋酒酒造組合アルコール委員会委員長 |
| 手島麻記子 | 食文化研究家 |
| 並木 茂夫 | NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン副理事長 |
| 松本 浩明 | 日本蒸留酒酒造組合社会環境小委員会委員 |
| 市田 浩恩 | 公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事 |

(2)委員会の開催状況

【審査委員会】

（第51回）令和4年7月13日（水）13：55～15：40 於：KKRホテル東京

- 議題
1. 経過報告（苦情・問合せの状況）
 2. 第39回実務者委員会（6/13開催）の報告
 3. 酒類広告の審査
 4. その他

（第52回）令和4年10月3日～10月14日（書面審査）

議題 実務者委員会委員の選定について

(第53回) 令和4年11月2日～12月9日(書面審査)
議題 改選期に伴う審査委員会委員及び改選期に伴う実務者委員会委員選任

(第54回) 令和5年2月6日(月) 15:00～16:55 於:KKRホテル東京
議題 1. 改選に伴う広告審査委員会委員長の選出について
2. 経過報告(苦情・問合せの状況)
3. 第40回実務者委員会(12/20)の報告
4. 酒類広告の審査
5. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
6. (社)日本新聞協会(広告掲載基準研究会)への要望活動について
7. その他

【実務者委員会】

(第39回) 令和4年6月13日(月) 14:00～15:30 於:アルコール健康医学協会会議室
1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. その他

(第40回) 令和4年12月20日(火) 13:55～15:45 於:アルコール健康医学協会会議室
1. 経過報告(苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
4. その他

(3) 審査結果の概要の公開

審査委員会の審査結果の概要について、第51回は令和4年8月、第54回は令和5年4月に酒類の広告審査委員会のホームページに公開した。

なお、第52回は実務者委員の選任、第53回は改選期に伴う審査委員会委員及び改選期に伴う実務者委員会委員選任に伴う書面審査のみ。